

JBMIA

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

Japan Business Machine and Information System Industries Association

一般社団法人ビジネス機械･情報システム産業協会（JBMIA）とは……

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会は、我が国のビジネス機械とそれに付随する情報システム産業の総合的な発展、並びにその改善合理化を図ることにより、日本経済の発展とオフィス環境の向上に寄与することを目的とする業界団体です。

情報技術の進化は、デジタル・ネットワーク時代の高度化をもたらし、オフィス環境に大きな変化を促しております。当協会では、ハード重視から製品を含むトータルなビジネスソリューションの提供をより重視するという業態の変化を受けて、製造事業者のみならず、販売、サービス関連の事業者とも連携を深めて、政策提言、国際協力、温暖化防止、環境保全、標準化、製品安全等に関する事業や調査研究事業を行い、業界の直面する内外の重要課題に対応して、活発な委員会・部会活動を展開しています。

事業内容

ビジネス機械･情報システム産業に関連する

- ■ 調査研究及び情報の提供
- ■ 効率化方策の策定及びその推進
- ■ 規格の作成及び標準化の推進
- ■ 国際交流及び国際協力の推進
- ■ 環境、安全及び品質問題に関する事業の推進
- ■ 普及と啓蒙
- ■ その他、本協会の目的を達成するために必要な事業

設立の経緯

1960 年（昭和 35 年）2 月 17 日：日本事務機械工業会の発足
1966 年（昭和 41 年）11 月 1 日：社団法人日本事務機械工業会の設立
2002 年（平成 14 年）4 月 1 日：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会に改称
2012 年（平成 24 年）4 月 1 日：一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会に移行

会員の種別と資格

■正会員：ビジネス機械・情報システムの製造事業を営む法人
＊正会員のグループ企業も登録により、委員会・部会活動に参加することができます。

■準会員：前項に該当しない法人
＊委員会・部会活動に参加することができます。

■賛助会員：本会の目的に賛同し、協力しようとする法人
＊委員会・部会活動に参加することはできません。

主な対象機器

- ■ 複写機･複合機
- ■ ページプリンタ
- ■ デジタル印刷機
- ■ 大判インクジェットプリンター
- ■ ビジネスインクジェットプリンター
- ■ 商用デジタルプリンティング
- ■ データプロジェクター
- ■ シュレッダ
- ■ ドキュメントマネージメントシステム

理念・ビジョン・役割

【理　念】

ビジネス機械・情報システムの継続的な革新を通じて、
新しいワークスタイルを提案し、活力あるグローバル社会を創る

【ビジョン】

誰もが創造的に働くことができる持続可能な社会創りに貢献する

- 人類の永続的な発展のために、誰もがいつでもどこでも歓びや楽しみを感じながら安心して働くことができる社会実現に貢献します
- 常に一歩先を見据えて社会のあるべき姿を考え、社会課題を解決する事業活動を実践します
- 脱炭素社会、循環型社会の実現に向け、“働く”と“環境”の両立をリードする新しいワークスタイルを提案し実践します

【役　割】



■社会課題解決への貢献

会員企業と共に、常に社会動向、経済動向、人々の生活や意識など、我々を取り巻く社会変化を捉え、その一歩先を見据えて取り組むべき課題を明確にし、その課題解決に向けた事業活動を展開します。

■政策提言と社会実装支援

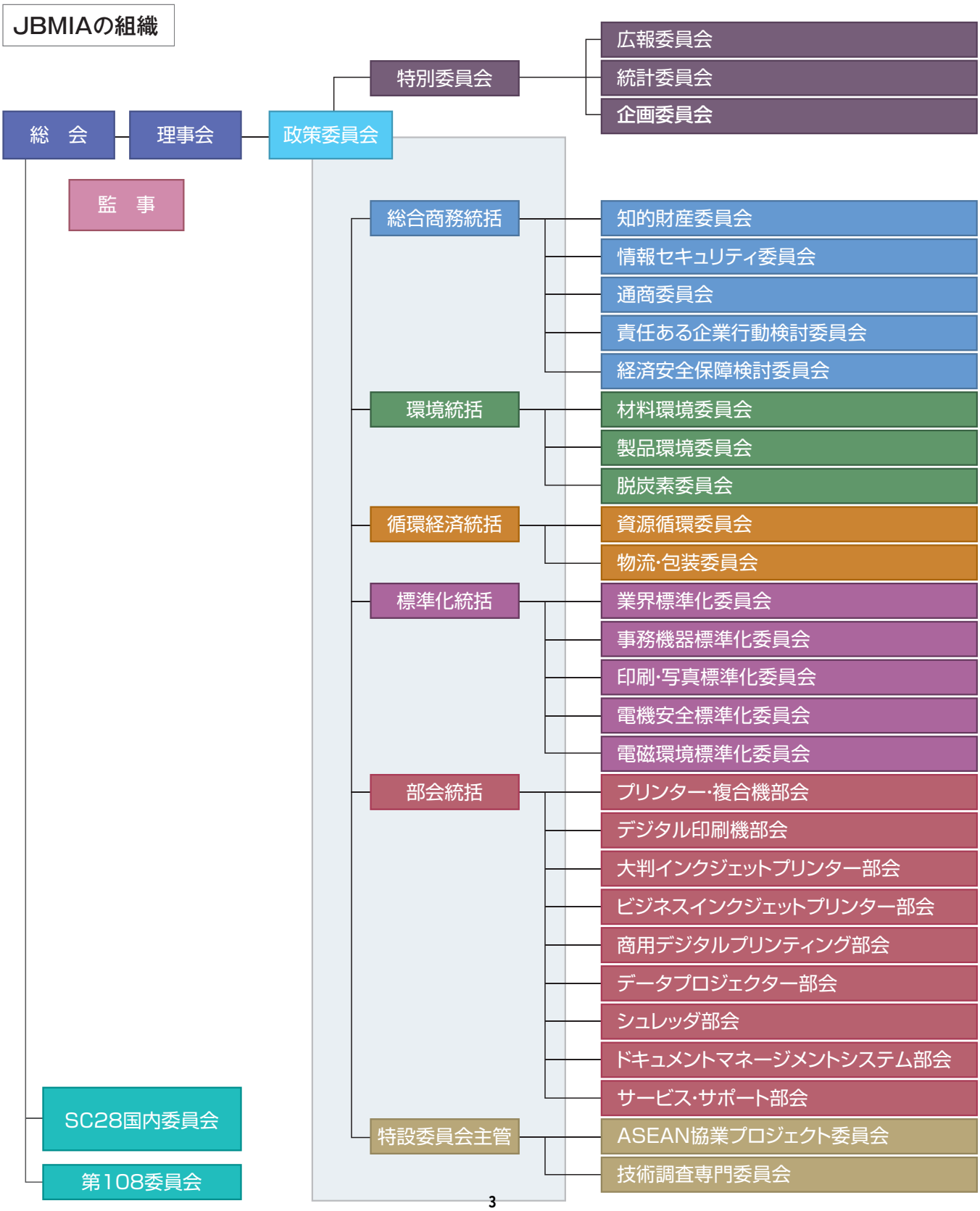
国際社会との連携、並びに政府・自治体・関連する団体と連携した政策提言を行い、その具体化と社会実装を支援します。

■市場・産業構造の分析並びに規格・ルールの策定

当協会・業界に関係する市場実態・法令・産業構造等の調査並びに統計による把握と研究を行う。また安心・安全な社会に向けた法制化・標準化・規格化および統一基準等の策定に向けた検討と提案を行うと共に、その普及・広報活動を行います。

■お客様価値提供の追求と事業推進の支援

常に時代に即したお客様価値を追求して参ります。そしてその実現に向けて参加企業と共に業界発展とお客様価値創出の両立に貢献します。


JBMIAの組織
総　会
理事会
政策委員会
監　事
特別委員会
広報委員会
統計委員会
企画委員会
総合商務統括
知的財産委員会
情報セキュリティ委員会
通商委員会
責任ある企業行動検討委員会
経済安全保障検討委員会
環境統括
材料環境委員会
製品環境委員会
脱炭素委員会
循環経済統括
資源循環委員会
物流･包装委員会
標準化統括
業界標準化委員会
事務機器標準化委員会
印刷･写真標準化委員会
電機安全標準化委員会
電磁環境標準化委員会
部会統括
プリンター･複合機部会
デジタル印刷機部会
大判インクジェットプリンター部会
ビジネスインクジェットプリンター部会
商用デジタルプリンティング部会
データプロジェクター部会
シュレッダ部会
ドキュメントマネージメントシステム部会
サービス･サポート部会
特設委員会主管
ASEAN協業プロジェクト委員会
技術調査専門委員会
SC28国内委員会
第108委員会

会 長 挨 拶



一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

会　長　本間　利夫

（キヤノン株式会社　代表取締役副会長 CTO）

このたび、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の会長を拝命いたしました。会員各社ならびに関係者の皆様には、日頃より当協会の活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

私たちを取り巻く社会は、各地で続く紛争や国際情勢の緊張、サプライチェーンの分断懸念、各国の輸出管理や重要物資確保の動きといった変化を背景に、地政学リスクが高まり、経済安全保障の重要性も増しています。

また、異常気象の深刻化や脱炭素社会への移行に向けた動きが広がる中で、気候変動への対応は産業界全体で果たすべき責務となっています。

さらに、生成AI をはじめとする技術革新の急速な進展などにより、私たちを取り巻く事業環境は、かつてないほどの速度と規模で変容を続けています。加えて、国内では人手不足や物流課題など、企業活動に直結する社会課題への対応も一層求められています。

JBMIA は、ビジネス機械・情報システム産業の発展を通じて、誰もが創造的に働くことができる持続可能な社会づくりに貢献することを使命としています。オフィスや多様な働く場を支える製品・ソリューション・サービスを担う業界団体として、変化への適応力と迅速な遂行力をもって、社会課題の解決と産業競争力の向上に取り組んでまいります。

以上を踏まえ、新会長として、当協会が2026 年度に重点的に取り組む次の4つのテーマを掲げました。

1. 技術優位性の堅持と強靭なビジネス環境の構築
2. 事務機における循環型ビジネス環境の構築
3. 革新技術の活用による「次世代」への進化と協調領域の探索
4. 「Slim & Vital」な体制の確立と構造改革の完遂

協会として、これらのテーマについて具体的な活動を着実に推進し、業界全体の持続的な発展と社会課題の解決に貢献してまいります。会員各社ならびに関係者の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

委員会・部会の主な活動と成果

JBMIA活動の基本方針として、デジタル化、ネットワーク化の推進、地球環境問題、ユーザーニーズ変化への対応等、業界の共通重要課題の解決への貢献をモットーに機動的な事業活動をしています。

活動事例紹介

環境・回収リサイクル

当協会が所管する製品に対する国内外の環境関連法規制（回収リサイクルや含有化学物質など）や環境ラベル（エコマークやブルーエンジェルなど）に関する動向調査・対応等、環境をテーマにした様々な活動を行っています。さらにプラスチックのオープンリサイクルのシステム構築を目指した活動も開始しています。

複写機・複合機／デジタル印刷機のメーカー12社が中心となり、各社が営業活動で下取りした他社の使用済み機を「回収機交換センター」へ集荷し、そこからそれぞれの製造メーカーに使用済み機を返却するシステムを構築しています。またあらたに、製品を共同で配送する仕組みの構築をめざした活動を開始しています。はじめに、エンドユーザーに製品を届けるラストワンマイルを共同で配送するシステムの構築に向けた活動を行っています。

この活動により会員のリユース・リサイクルの促進、回収、配送時物流の共同化による輸送時のCO_2排出の削減等に寄与しています

国際関連

めまぐるしく変貌する国際社会の中で、WTO関連やAPECなどのグローバルテーマに関して、複合機の関税に関するWTO提訴活動を長年進めてきたのを例に、事業運営及びビジネスに関与するテーマの分析、研究の上、業界の利益、品質向上を目指し、各種諸問題、課題解決を推進しています。また国際貢献の視点から日本ASEAN統合基金（JAIF）を活用して、ASEANへの技術支援活動を実施し、ASEANとの協力関係を促進している。

セキュリティ関連

セキュリティについてはますます重要性となっている。情報セキュリティ委員会を中心に検討した複合機のセキュリティ規格ネットワーク機能付き事務機セキュリティガイドライン（略称：BMSec）をプリンター・複合機部会と連携して2021年度から運用を開始している。

デジタル関連

ドキュメントマネージメント部会を中心に、電子帳簿化の推進のために、電子帳票類をQRコードで効率よく取り扱うことができるJBMS標準化QRコード規格を設定し普及活動を行っている。

役員名簿 Board Members

代表理事　会　長	本間　利夫	キヤノン株式会社　代表取締役副会長 CTO
代表理事　筆頭副会長	大幸　利充	コニカミノルタ株式会社　代表執行役社長　兼　CEO
理　事　副会長	沖津　雅浩	シャープ株式会社　副会長
理　事　副会長	吉田　潤吉	セイコーエプソン株式会社　代表取締役社長
理　事　副会長	錦織　弘信	東芝テック株式会社　代表取締役 会長執行役員 CEO
理　事　副会長	浜　直樹	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社　代表取締役社長･CEO
理　事　副会長	大山　晃	株式会社リコー　代表取締役　社長執行役員　CEO
理　事	樫尾　和宏	カシオ計算機株式会社　取締役会長
理　事	伊奈　憲彦	京セラドキュメントソリューションズ株式会社　取締役
理　事	池田　和史	ブラザー工業株式会社　代表取締役社長
理　事	羽山　明	理想科学工業株式会社　代表取締役社長
代表理事　専務理事	林　祥一郎	一般社団法人ビジネス機械･情報システム産業協会
業務執行理事　常務理事	吉橋　晴司	一般社団法人ビジネス機械･情報システム産業協会
監　事	森　孝廣	沖電気工業株式会社　代表取締役社長執行役員　CEO
監　事	村田　大介	村田機械株式会社　代表取締役社長

正会員（20社） Regular Members

アイリスオーヤマ株式会社
沖電気工業株式会社
カシオ計算機株式会社
キヤノン株式会社
京セラドキュメントソリューションズ株式会社
コニカミノルタ株式会社
シャープ株式会社
セイコーエプソン株式会社
株式会社デュプロ
東芝テック株式会社

アイリスオーヤマ株式会社
沖電気工業株式会社
カシオ計算機株式会社
キヤノン株式会社
京セラドキュメントソリューションズ株式会社
コニカミノルタ株式会社
シャープ株式会社
セイコーエプソン株式会社
株式会社デュプロ
東芝テック株式会社
パナソニック プロジェクター & ディスプレイ株式会社

準会員（17社） Associate Members

アコ・ブランズ・ジャパン株式会社
SBSリコーロジスティクス株式会社
株式会社コスモス・コーポレイション
株式会社サトー
株式会社シーイーシー
株式会社テクノサイエンスジャパン
Sky株式会社
テュフ・ラインランド・ジャパン株式会社
株式会社東陽テクニカ

アコ・ブランズ・ジャパン株式会社
SBSリコーロジスティクス株式会社
株式会社コスモス・コーポレイション
株式会社サトー
株式会社シーイーシー
株式会社テクノサイエンスジャパン
Sky株式会社
テュフ・ラインランド・ジャパン株式会社
株式会社東陽テクニカ

賛助会員（2社） Supporting Members

京セラ株式会社
OHチャネルイノベーションズ株式会社

（2026年11月現在）

委員会・部会 Committee / Groups

特別委員会

企画委員会
当協会の主要事業に関する課題を審議し、理事会へ提案します。業界の発展に向けた方針を策定し、事業の方向性を示します。

広報委員会
プレスリリースやホームページを通じて協会の活動や業界の取り組みを広く発信し、JBMIAの認知度向上を目指します。

統計委員会
業界の市場動向を把握するため、統計データの収集・集計を行い、各種施策の基礎資料を提供します。

課題別委員会・部会

総合商務統括
- **知的財産委員会**
  国内外の特許や商標に関する情報を収集し、業界の課題を整理。適切な対応策を検討します。
- **情報セキュリティ委員会**
  情報セキュリティに関する規制や動向を調査・分析し、企業のリスク管理を支援するとともに、適切な対応策の策定を推進します。
- **通商委員会**
  各国の通商政策や経済安全保障の動向を調査し、業界への影響を分析。必要な対応策を検討します。
- **責任ある企業行動検討委員会**
  企業の社会的責任に関わる人権や環境問題の動向を把握し、業界としての適切な対応を検討します。
- **経済安全保障検討委員会**
  協会内の顕在化リスク・潜在リスクを、地域別分析も含めて整理・評価するとともに、政府機関、外部機関、業界団体との連携を強化する。

環境統括
- **材料環境委員会**
  化学物質規制（REACH、RoHSなど）をはじめとする環境法規制に関する調査を実施し、業界の対応を推進します。
- **製品環境委員会**
  騒音、エミッション、省エネなど、製品環境に関する規制や指標を調査し、業界の対応方針を策定します。
- **脱炭素委員会**
  脱炭素に向けた政策や規制要求（ESPR、CFPなど）を調査し、業界全体の対応策を検討します。

循環経済統括
- **資源循環委員会**
  製品の再生・再利用、再資源化、再生材活用に関する政策・規制を調査し、業界協調の推進を図ります。
- **物流・包装委員会**
  環境に配慮した物流や包装の在り方を検討し、業界全体での規制対応や自主的取り組みを推進します。

標準化統括

- **業界標準化委員会**
  JBMIAが策定する業界規格（JBMS、TR、ガイドライン）やJIS提案の適切な制定・管理を行い、標準化戦略を検討します。
- **事務機器標準化委員会**
  事務機器の性能評価や各国の規制動向を調査し、業界標準の策定を推進します。
- **印刷・写真標準化委員会**
  印刷・写真業界の国際規格や認証制度の動向を調査し、業界標準の策定を支援します。
- **電機安全標準化委員会**
  製品の安全性を確保するため、国際規格や規制を調査し、標準化を推進します。
- **電磁環境標準化委員会**
  電磁両立性に関する規格や規制の動向を調査し、業界としての対応策を検討します。

部会統括

- **プリンター・複合機部会**
  省エネ・3Rの推進、用語や仕様の標準化、流通に関する課題への対応を行います。
- **デジタル印刷機部会**
  標準化や3R推進を進め、製品の普及を支援します。
- **大判インクジェットプリンター部会**
  使用環境の安全性や基本仕様のカタログ表記の標準化を検討します。
- **ビジネスインクジェットプリンター部会**
  各社の製品仕様やTCO関連データの測定方法の標準化を検討します。
- **商用デジタルプリンティング部会**
  商用デジタル印刷機の標準化、3R推進、製品普及を促進します。
- **データプロジェクター部会**
  性能表記や測定方法の標準化、PJLinkの普及、新光源の安全規格対応を推進します。
- **シュレッダ部会**
  シュレッダ市場の育成、安全基準・規格基準の制定・改定等標準化の推進活動に取り組んでいます。
- **ドキュメントマネージメントシステム部会**
  企業の文書管理システム（DMS）の普及を促進し、経営効率化を支援します。
- **サービス・サポート部会**
  サービス業務の品質向上、CE（カスタマエンジニア）のスキル向上を支援し、業界全体のサービスレベルを向上させます。

ISO／IEC国内委員会

SC28国内委員会

オフィス機器に関するISO国際標準の作成・提案、国際規格の審議。

第108委員会

IT機器、オーディオ・ビデオ及び関連電子機器の安全性に関わる標準の国際規格（IEC）への提案、電気用品技術基準の整合化を行います。

【MEMO】

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association
〒108-0073　東京都港区三田3-4-10　リーラヒジリザカ7階
TEL: 03-6809-5010　FAX: 03-3451-1770　http://www.jbmia.or.jp



都営三田線・都営浅草線 「 三田 」駅より　徒歩 約4分
JR山手線 「 田町 」駅より　徒歩 約6分

VEGETABLE OIL INK

MIX
From responsible sources
FSC® C014542